

*** ある日の育児日記から ***

**** (24) ****

佐藤 和代 ***



有は六か月。いよいよハイハイ開始です。少しずりずりと動くようになったな、と思う頃敬（主人です）の田舎へ行ききました。これでもうあつという間にハイハイ名人に。何しろ、十畳間三つぶちぬぎの和室。昔風の家ですから障害物もほとんどなし。有はたつぷりとはいまわってきました。さあ、そうなると我が家は…。帰ってきて、まず思ったことが「どうしてこんなにドアがあるのよ!」。どの部屋もドアで仕切られ、収納もほとんど開き戸。玄関はもちろん重たいドアです。

そして、すき間があれば指をつっこむのが赤ん坊の習性。ただでさえ指先にケガの絶えない有ですが、この間はとうとう、トイレのドアに指をはさんで大泣きました。ひらたく、白くなってしまった指をなでてやりながら、こんなにびったり閉まるドアでなくてもいいのに、とうらめしく思いました。少しハイハイすれば壁かドアにぶつかる。ドアは自分では開けられない。姉のあとを追ってけば指をはさまれる。ドアは赤ん坊の天敵です。有がどこかでゴッチンとぶつかる音を聞くたびに、田舎の家はよかったと思ってしまうこのごろです。



このごろ料理(の一部)にこってままむす。マセマゼ!